# ■市民活動団体との協働の手引書 ＜概要＞

資料3

## はじめに

**1　協働が必要になった背景**
①社会的課題の多様化・複雑化
②NPO等の市民活動が活発化
③多様な市民ニーズに対して行政が単独で対応することの限界
④公共サービスを多様な人や組織が担うことで、より効果的な課題解決を図ることが必要

**2　手引書の位置付け**
行政の担当者を対象に、より良い協働を実践するためのマニュアル
NPOとの協働を行う上での考え方の指針、NPOへの情報発信

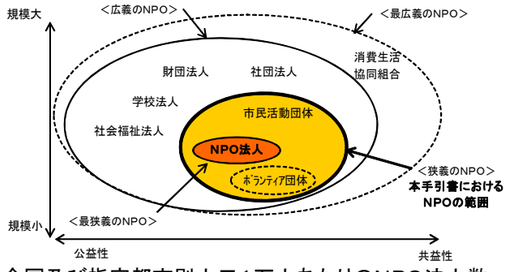
## NPOを知る

**1　NPOの定義**
ＮＰＯ：市民活動を行う団体（NPO法人、ボランティア団体）
市民活動：市民の自主的な参加による自発的な活動で、利益の獲得を目的としない公益性を有する活動

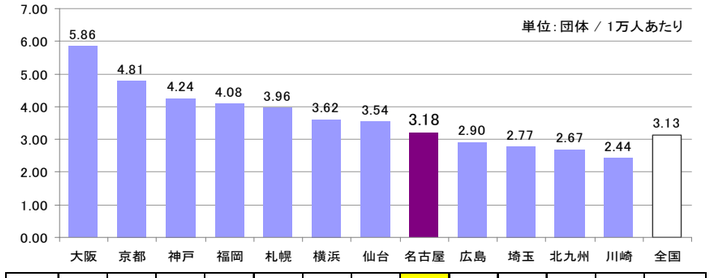
**2　NPOは他の団体と何が違うのか**
①自主性・自発性に基づく活動
②不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する目的を持つ活動
③利益の獲得を目的としない
④行政機関の一部でない
⑤政治活動や宗教活動を主な目的としない活動
⑥組織である
⑦参加したい市民に対して開かれた活動である

**3　NPOの良さは何だろう**
①個別性・多様性、②機敏性・柔軟性、③先駆性、
④専門性、⑤社会変革性、⑥当事者性・市民の主体性

**■NPOの概念図**




**■全国及び指定都市別人口1万人あたりのNPO法人数**




| | 大阪 | 京都 | 神戸 | 福岡 | 札幌 | 横浜 | 仙台 | 名古屋 | 広島 | 埼玉 | 北九州 | 川崎 | 全国 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 法人数 | 1,563 | 703 | 653 | 596 | 756 | 1,332 | 367 | 719 | 340 | 338 | 262 | 347 | 39,847 |
| 人口（万人） | 267 | 146 | 154 | 146 | 191 | 368 | 104 | 226 | 117 | 122 | 98 | 142 | 12,744 |

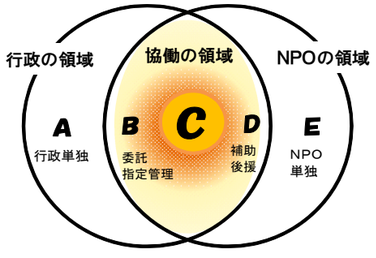
## 基 本 編

**1　本書における協働の定義**
協働とは、複数の主体が、それぞれの自主性・自発性のもとに相互の特性を認識・尊重しながら役割分担し、公共サービスを提供するため、協力・強調すること

**2　協働の意義**
①小さな自治活動のきっかけ
②市民が参加するまちづくり
③新しい「気づき」
④利用者の立場にたった公共サービスの提供
⑤関わる人々の意識を変える

**3　協働を進める際の基本的原則**
（1）行政とNPOに共通して求められる姿勢
①目的・目標の共有
②相互理解
③対等の関係
④透明性の確保
⑤評価の実施
（2）行政に求められる姿勢
①組織横断的な連絡調整
②NPOに対する適切な理解と配慮
（3）NPOに求められる姿勢
①守秘義務
②公の資金を使う自覚と責任

**4　協働の類型**
（1）活動領域による類型



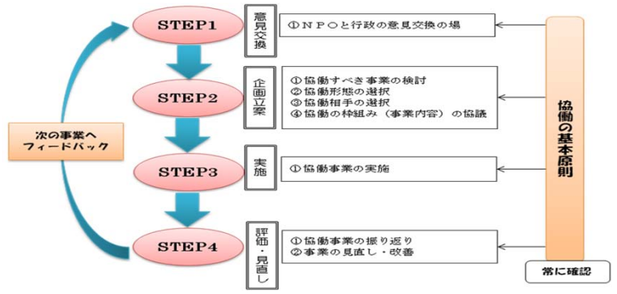

（2）将来展望による類型
①制度化・政策化で行政が担うパターン
②市場化・民営化でNPOが担うパターン
③協働を継続（NPO・行政双方が担う）するパターン

**5　NPOと企業の協働とは**
（1）協働の意義
（2）NPOと企業の協働に必要な姿勢
①活動理念や目的・目標の明確化・共有化
②相互理解 ・対等な関係
③情報公開 ・収集
（3）行政の役割
①情報提供　　②交流の機会づくり　　③コーディネート機能

**6　本市における協働の現状**
（1）協働事業件数の推移　平成16年度約100件→平成21年度約800件
（2）協働事業の内訳　事業協力27%、後援27%、委託19%
（3）協働の分野　学術・文化・芸術、まちづくりで全体の約4割

## 実 践 編

1　協働プロセスのイメージ




**2　各ステップにおけるポイント**

**【STEP 1】 意見交換**
意見交換の場をつくる

**【STEP 2】 企画立案**
（1）協働すべき事業の検討
①協働に適した事業か
②協働になじみやすい取り組みとは
（2）協働形態を選択する
①協働手法の種別
（3）協働相手をみつけよう
①協働相手の選定方法
②協働相手が見つからない場合
（4）事業内容を協議しよう
①お互いの資源の認識と情報の共有
②課題・目的・成果目標の確認、再検討
③役割・責任分担の明確化
④経費負担の明確化
⑤協働事業の合意

**【STEP 3】 実施**
（1）協働相手とのコミュニケーション・現場理解
（2）中間評価

**【STEP 4】 評価・見直し** ～事業の評価・協働の評価を行う
①事業・協働の評価方法 ～誰が・何を評価する？～
②振り返りシートの作成・事業の見直し
③公表・情報公開

## 環境づくり

**1　行政内部における工夫**
（1）人事異動による引き継ぎは重要
（2）行政の持つ情報は市民の財産

**2　職員のノウハウ・スキルアップ**
（1）NPOを体験しよう
（2）市民活動への参加・体験

**3　NPOからの事業提案**

＜事例編＞
1　現場主義！　机の上だけでは仕事はできない
2　対等な関係って？
3　時間を惜しまずコミュニケーションを！